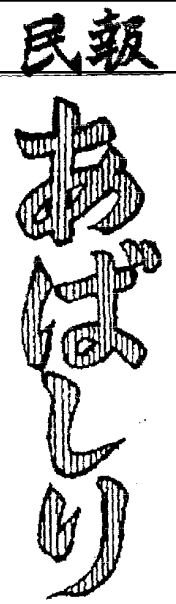
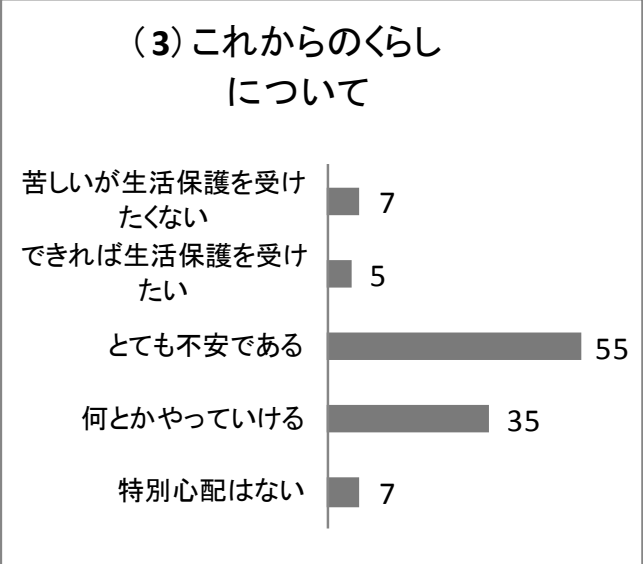
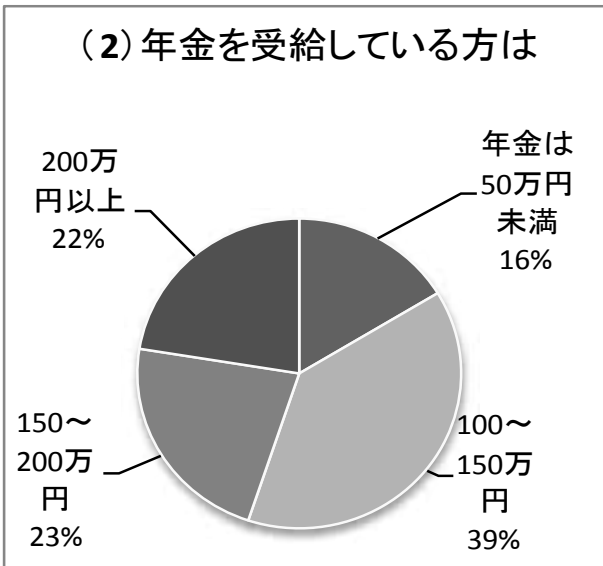
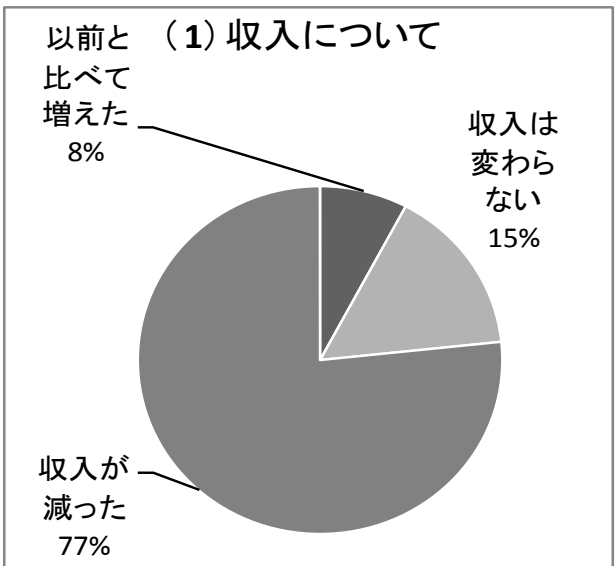


市民の苦しみ・願いを我が事としてがんばる日本共産党市議団

日本共産党網走市議団は今年3月約3000世帯を対象に「わたしたちのまち、網走市民アンケート」を実施しました。その結果、網走市民の暮らしが厳しさを増していること、市民のささやかな願いがなかなか市政に反映しない状況等が明らかになりました。民報「あばしり」はその内容を2回にわたってお知らせします。



NO. 926
2013・7・7
発行所
日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
番地四三・四四・五八
F 四三・四四五七



(4) これからどのような政策が望まれますか

若い人の働き口が確保されている	48
高齢者の働き口が確保されている	19
最低限の生活ができる年金制度ができる	48
医療費の負担を抑える、老人医療費を無料にする	53
国保料を引き下げる	37
介護保険料・利用料の負担を軽減する	42
特別養護老人ホームの増設と老老介護の解消	40
その他	11



※市民の年収は全国的な傾向と同じく年々減ってきています。収入が減れば消費も減るのは当然ですし、デフレが進行します。この原因は労働法を次々と改悪し、非正規雇用・派遣労働を大幅に認め、首切り・合理化を野放しにしたことにあります。それが正社員の給料も引き下げることにつながりました。

そのうえ、低年金、医療費負担増、介護保険料や国保料の値上げなどが庶民の暮らしを直撃しています。(4)の市民の望む政策は切実です。松浦・飯田両市議は

『日本共産党の立党の精神は、国民の苦難と共に』です。日本共産党は国政でも市政でも、みなさんの苦しみを我が苦しみとして、その苦難の軽減に全力を尽くします」と語っています。

流水

最近の気象状態は異常としかいえませんね。地球温暖化による気温の上昇が自然を壊しているといえます。▼広大な北海道とは違い、田んぼ一枚の面積が小さい本州特有の棚田、この棚田が水不足で美しい風景が見られないそうです。日本の原風景と言われる棚田は周囲に森がありきれいな水が湧き出て標高が高く空気も澄み民家が少ない。▼千枚田といわれる小さな田んぼには機械が入らず、日本古来からの営農法が受け継がれおいしいお米を栽培しています。▼若い稲が青々と茂り、太陽をいっぱい浴びた棚田は昆虫や水辺の生き物達の楽園でもあり蛙の声もあちこちで聞かれ生命感に溢れています。真夏日でもここ棚田にはそよ風が稲の葉先を撫でて通り水面に波紋ができます▼こんなスローライフを楽しめる棚田が「気温の変化」と「作り手不足」で危機に直面しています。棚田を守る仕事を今、担っているのは八十年代、七十代の老人達。石垣の修理、畦草刈り、水路の整備など怠らず手間暇かけてお米を作っています。後継者がいない。棚田百選”に選ばれても保護はありません。原風景と真心込めた米作りを国は守って欲しい。▼しかし、国はTPP参加を決めています。棚田を守り、育てる人たちの願いとはまったく逆の施策でしかありません。(U)